
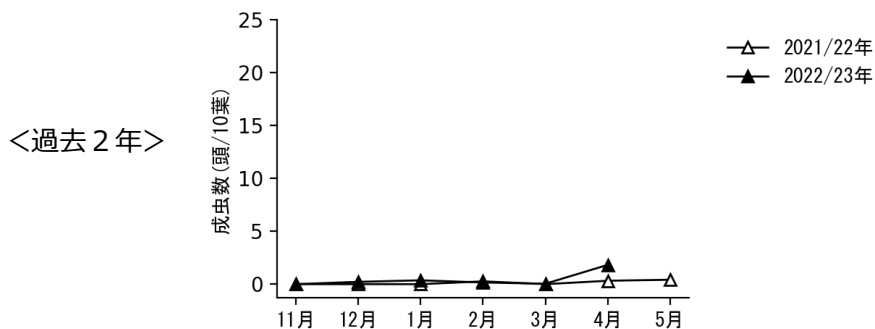
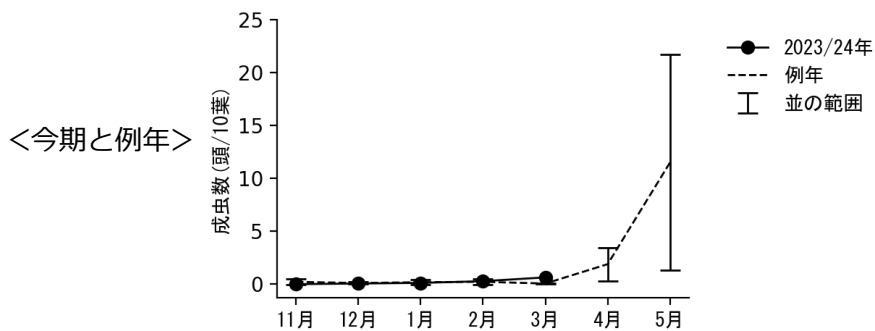


作物	とうがん(施設・立体栽培)	地域	宮古群島
病害虫名	① ミナミキイロアザミウマ		
調査結果	3 月の発生量 (例年比)	やや多	
予報	3 月からの増減傾向	↗	
	4 月の発生量 (例年比)	並	
予報の根拠		例年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

成虫数の推移



・発生施設率80.0% (例年：26.7%)

防除のポイント

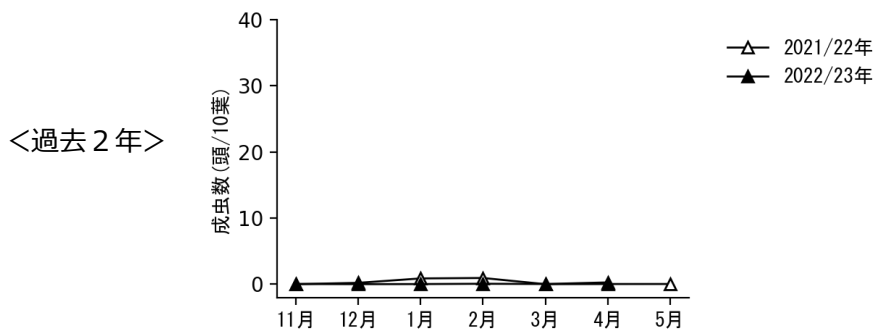
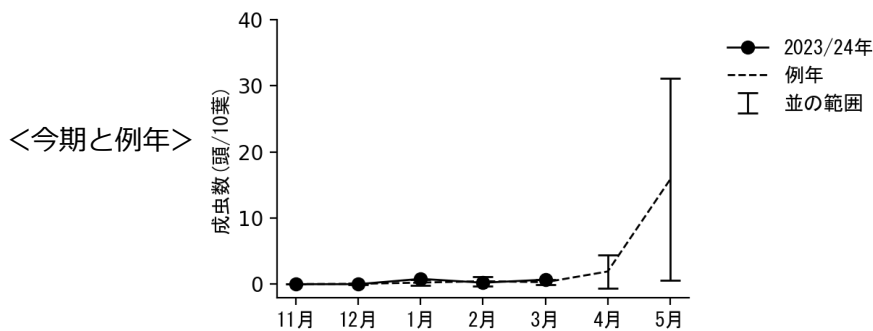
- ・本種はスイカ灰白色斑紋ウイルスを媒介する。
- ・多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。
- ・施設の出入口や天窓は目合いの細かいネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
- ・多発すると防除が困難になるので、つる先や葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

作物	とうがん(施設・立体栽培)	地域	宮古群島
病害虫名	② タバココナジラミ		
調査結果	3 月の発生量 (例年比)	やや多	
予報	3 月からの増減傾向	↗	
	4 月の発生量 (例年比)	並	
予報の根拠		例年の発生量の推移 (↗)	



調査結果

成虫数の推移




・発生施設率80.0% (例年：26.7%)

防除のポイント

- ・多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。
- ・施設の出入口は目合いの細かいネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
- ・黄色粘着テープ等により、早期発見・防除に努める。
- ・幼虫は下位葉の葉裏に多いことに留意しながら薬剤散布を行う。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避け、気門封鎖系等の薬剤も利用する。

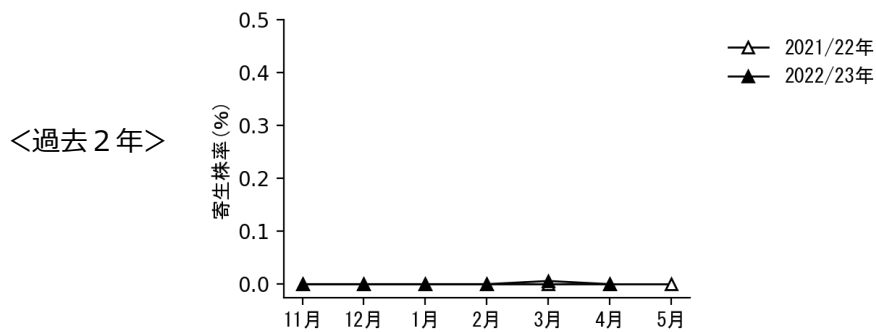
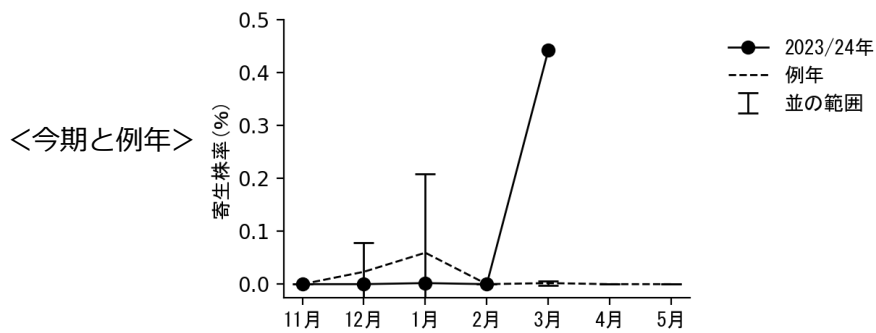


幼虫

作物	とうがん(施設・立体栽培)		地域	宮古群島
病害虫名	③ ハダニ類			
調査結果	3 月の発生量 (例年比)	やや多		
予報	3 月からの増減傾向	→		
	4 月の発生量 (例年比)	やや多		
予報の根拠		例年の発生量の推移 (→)		

調査結果

寄生株率の推移



・発生施設率20.0% (例年：6.7%) 一部施設で多発

防除のポイント

- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。